

APAA50周年記念式典開催報告

APAA50周年記念式典準備委員長 藤田 健

1969年のAPAA設立から50年を迎えたことを記念し、2019年6月3日に、APAA50周年記念式典が、東京プリンスホテルの鳳凰の間にて開催された。

日本からの参加者119名、海外からの参加者133名を含めて252名の参加者を得た。50年の歴史を振り返るスライドショー、表彰及び懇親会が催され、成功裏に幕を閉じた。

外部参加者として、WIPO, AIPPI, FICPIその他の姉妹団体からの代表者、そして、日本特許庁、知的財産高等裁判所、日本弁理士会、日本弁理士協同組合から代表者が出席した。

吉田麻実子日本部会理事により開会の挨拶がされ、引き続き、勝沼宏仁APAA本部会長から開会の辞が述べられた。



APAAの過去を振り返るスライドショーが上映された。スライドショーでは、APAA発足からの歴史が数々の写真と共に振り返られた。

APAA50年の歴史に貢献があった団体及び個人に対し、感謝の意を表し、表彰が行われ、記念品が贈呈された。被表彰者名については、プログラムを参照されたい。





連獅子のパフォーマンスにより注目が集められる中、横内謙二日本部会理事の司会で懇親会が開始された。



弁理士で元首相である菅直人様から、乾杯の挨拶を頂いた。



暫くの歓談の後、阿波踊りのパフォーマンスが始まり、懇親会参加者も一緒に阿波踊りを楽しんだ。



勝沼宏仁 A P A A 本部長の歓迎の挨拶に続いて、特許庁の特許技監である嶋野邦彦様、及び、知的財産高等裁判所長である高部真規子様から、祝辞を頂いた。



横内謙二理事により、懇親会の中締めがされ、懇親会は、盛況のうちに終了した。